



おてらさん

10月号

令和6年10月1日

発行：智弘院



そんな目をして…

あるお寺に、有名な幽霊の絵がある。

『幽霊の絵を見せて頂きましょうかね。』

と、二人のおばあちゃんはお寺へ。

幽霊は、うらめしい恨み辛みの眼をしていた。

「この幽霊の眼は、うちの嫁の眼だ！」と、

一人のおばあちゃん。

もう一方は、

「私、あんな目で嫁を見ていたかな…」と。

自らの愚かさを知ってこそ智慧は生まれる。

自分だけ運が悪い！！

或る家に、美しい女性の旅人が、「私は《福の神》です。一晩だけ泊めてください」と。

主人は快く迎え入れた。しばらくすると、又ひとりの女性の旅人が、

自分は《貧乏神》だと名乗り、泊めて欲しいと言ったが、大切な来客中と追い返した。

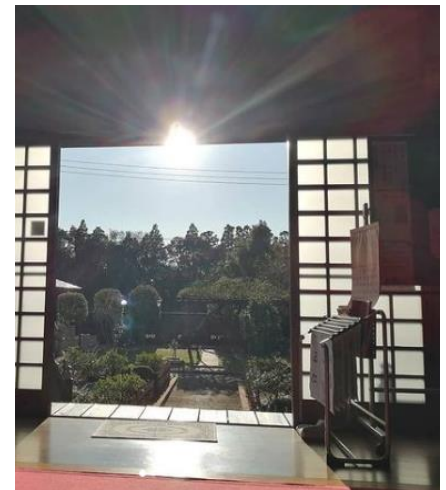
すると彼女は、『来客とは私の姉、福の神でしょう。』

私たちはいつも一緒。私を追い出せば福の神も去ります。』

慌てた主人だが、遅かった。

生があれば死があり、幸があれば災いがある。

共に越えて、いずれにも執着してはならない。



勉強会(随時)

勉強会の内容

法華経の教え

仏様の教えや法華経の教えを学んで、悩みや苦しみを解決する智慧を頂く

日蓮大聖人遺文

日蓮さまのお言葉、お手紙にふれて、仏様の世界、道理、心のあり方を学ぶ

日蓮大聖人のご生涯

日蓮さまのご生涯で、お弟子や信徒との心の交流を通して、人としての生き方を共に考える

自ら学ぶ姿勢が大切です。

知っていることの先

お寺はいつでも開いています！

山門の仁王様

口の形

知っている人は多いけど…

大きなお寺の山門の左右には仁王様。

仁王様の口の形は、『阿吽(あうん)』
これって結構知っている人が多い。

向かって右側の仁王さまは口を大きく開けて「阿形」像、身体の色は**赤**。
人は生まれる時「おぎゃあ」と産声をあげて、充血した赤い身体で生まれてくることから、
人の誕生を表現。

反対側の仁王様は、口を真一文字に閉じて「吽形」像と云い、身体の色は青黒い色。
人が死ぬ時は血の気がなくなり、口を「うん」と閉じて死ぬのが一般的なことから、
人の死を表している。

つまり仁王様は私達の最初と最後を表したもの。狛犬も同じ。

『仁王様の口の形は、阿吽をあらわしているんだよ！』と、
語る人は多いけど、その先を知る人は少ない。

ご供養

供養は物にだって必要。

例えば、寿司職人さんが使い込んだ包丁。

毎日研ぎ、使う包丁は身体の一部であり、魂が入る。

健やかな成長を祈っていただいた雛人形も。

感謝をもって供養したいですね。

おてらさん
終了まで

あと**2**

向妙山 智弘院

向妙山 = 自分を知る、取り戻す場所。

智弘院 = 妙法蓮華経の教えを弘める事。

～ 門は常に開いております。 ～

TEL: 0475-77-4681

〒299-3211 千葉県大網白里市細草 602-5



Instagram



<http://chicouin.com/>

捨てる！

捨てるものは、『執着』

執着をすてる事は心を強くする第一歩。

執着には、『依存、甘え、不安、怯え』が隠れている。

記：護多

